

農学委員会・食料科学委員会合同 CIGR分科会（第21期・第1回）議事要旨

日 時： 平成21年1月24日（土）10：30～12:00

場 所： 東京農業大学世田谷キャンパス 地域環境科学部 会議室

出席者： 真木、村瀬、町田、木村、前川、梅田、野口

資 料

1. 農学委員会・食料科学委員会合同 CIGR 分科会（21期1回）議事次第
2. 分科会委員名簿
3. CIGR(国際農業工学会)国際シンポジウム2011 ヒアリングパワーポイント資料
4. CIGR(国際農業工学会)国際シンポジウム2011の共同主催について（申請）
5. CIGR ニュースレター(No. 83)
6. CIGR ニュースレター(No. 84)
7. CIGR Election 2008/Composition of the CIGR board for 2009-2010

(1) 分科会役員の選出

委員長、副委員長、幹事の選出を行った。委員互選の結果、真木委員が委員長に選ばれた。委員長から副委員長に村瀬委員、幹事に前川委員^{*}、野口委員が指名され承認された。

(2) 2011年CIGRシンポジウムの検討

2011年国際シンポジウムについて、真木委員長から国際会議主催等検討分科会によるヒアリングなど進捗状況について説明があった。また、審議の結果、下記が決まった。

- ① 学術会議と共催するうえでの要件となる市民公開講座の企画を鋭意進める。
- ② シンポジウム開催に向けてエージェント（アドスリー）に作業委託する。
- ③ シンポジウム会場をタワーホール船堀に決定する。当面の会場担当は町田委員が務める。
- ④ 会場費の抑制と会議開催の周知を図るために江戸川区や周辺大学などとの共催可能性を探る。
- ⑤ 現行の予算収入では550万円の寄付が見込まれており、個人寄付、日本農業工学会傘下学会への協力依頼などについて検討する必要があるとの意見があった。特に、学術会議の助成が得られなかった場合には予算の見直しとともに寄付集金方法を改めて検討する。
- ⑥ 公的機関の国際会議開催補助制度として、つくば万博基金（前川委員）、大阪万博基金（村瀬委員）を調査する。

(3) CIGRの役員選挙について

前川委員からCIGR次期役員選挙に向けて国内委員会としての補充のあり方について説明・提案があり、審議の結果、下記の後任委員について担当委員が候補者を予備選考することになった。

- 佐藤洋平先生の後任理事（担当：前川委員、ほか）
- SECTION I 佐藤洋平先生の後任ボードメンバー（担当：真木委員）

- SECTION IV 梅田幹雄先生の後任ボードメンバー（担当：梅田委員）
- SECTION V 堀尾尚志先生の後任ボードメンバー（担当：前川委員）
- SECTION VII 村瀬治比古先生の後任は二宮正士先生にお願いする。（担当：村瀬委員）

（４）国際委員会など

野口委員から国際対応戦略立案分科会を始め今後の国際委員会の活動方針について説明があった。

（５）その他

CIGR 理事、監事である岸田義典氏（新農林社社長）は本分科会の情報源として極めて貴重なので、オブザーバとして参加要請することになった。

<第２回 CIGR 分科会>

４月９日（木）13:00～、日本学術会議事務局

*) 前川委員の幹事就任は、分科会後に真木委員長の提案に基づき、メール会議において承認された。